

宮城民医連
東北関東大震災

災害対策ニュース

歯科版

第5号
2011年3月23日
発行：宮城民医連
歯科対策本部

全国の歯科からの支援ありがとうございます！

3月20日から民医連の歯科の仲間が松島歯科へ支援に入っています。

徳島2、東京3、北海道3、群馬3とDrを先頭に、DH、DT、DSの皆さん、診療復旧に向けて、カルテ清拭、受付周りの清掃・整備など少しづつ整い始めています。

避難所訪問も21日に2ヶ所、22日には4ヶ所を行い、被災者のみなさんへハブラシを提供し、大変喜ばれています。

また、現地歯科医師と共に東松島市長とも懇談、民医連として今後の協力について意見交換を行っています。

22日夜に、現地と支援隊代表、県連歯科対策本部合同の会議を開催、復旧に向けて全日本歯科への支援要請内容について、意見交換を行いました。



(22日の合同会議)



(野蒜歯科があつたデイサービスの状況)

—ユニット3台稼働できるようになりました—

松島歯科では、津波のため、ユニット11台とコンプレッサー、バキュームが浸水しました。

3月21日にメーカーのオサダ社スタッフが来院し、簡易型コンプレッサー・バキュームを使用しながらユニット3台が稼働できるようになりました。

さっそく、22日には急患7名が来院。水道が復旧していないため、限定期的な診療となっています。

22日には、古川からオートクレーブ1台を搬入復旧に向けて少し光が見えてきました。

中古ユニットを探しています。
松島歯科では、復旧に向けてオサダの中古ユニットバキューム、コンプレッサーを探しています。

情報を待ちしています。



(22日の急患対応の様子)